

浮遊粒子状物質の測定結果（平成27年度）

大気中の浮遊粒子状物質は、大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が $10\mu\text{m}$ （ μm =千分の1mm）以下のものをいいます。自動車の排ガスや工場からのばい煙に加え、微小な黄砂粒子なども含まれるため、黄砂が観測された日に高値を示すことがあります。

平成27年度に、浮遊粒子状物質について19測定局（自動車排出ガス測定局4局を含む。）で測定した結果は、下表のとおりであります。

年平均値は、大垣赤坂測定局の $0.040\text{g}/\text{m}^3$ が最も高い状況にありました。

なお、環境基準については、長期的評価に基づく環境基準を大垣赤坂測定局のみ超過しました。

地域	測定局名	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (mg/m^3)	1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値 (mg/m^3)	日平均値の2%除外値 (mg/m^3)	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続したことの有無	長期的評価の適否 適○否×	平成26年度	
					時間	%	日	%					年平均値 (mg/m^3)	長期的評価の適否
岐阜	岐阜中央	365	8693	0.013	0	0.0	0	0.0	0.158	0.034	無	○	0.013	○
	岐阜南部	366	8721	0.015	0	0.0	0	0.0	0.125	0.039	無	○	0.015	○
	岐阜北部	358	8566	0.014	0	0.0	0	0.0	0.092	0.033	無	○	0.013	○
	各務原	365	8739	0.015	0	0.0	0	0.0	0.097	0.035	無	○	0.016	○
	平均			0.014									0.014	
西濃・羽島	羽島	364	8732	0.016	0	0.0	0	0.0	0.111	0.039	無	○	0.018	○
	大垣中央	365	8751	0.020	0	0.0	0	0.0	0.090	0.047	無	○	0.022	○
	大垣南部	365	8740	0.020	0	0.0	0	0.0	0.215	0.046	無	○	0.019	○
	大垣西部	338	8181	0.021	0	0.0	0	0.0	0.093	0.045	無	○	0.015	○
	大垣赤坂	342	8300	0.040	0	0.0	0	0.0	0.182	0.081	有	×	0.040	○
平均			0.023									0.023		
可茂	美濃加茂	366	8748	0.013	0	0.0	0	0.0	0.129	0.037	無	○	0.012	○
東部濃西	笠原	364	8715	0.013	0	0.0	0	0.0	0.092	0.034	無	○	0.013	○
	瑞浪	366	8744	0.013	0	0.0	0	0.0	0.082	0.034	無	○	0.013	○
	平均			0.013									0.013	
恵那・中津川	中津川	362	8734	0.015	0	0.0	0	0.0	0.066	0.041	無	○	0.017	○
飛騨	高山	365	8740	0.010	0	0.0	0	0.0	0.059	0.026	無	○	0.012	○
乗鞍		324	7865	0.005	0	0.0	0	0.0	0.080	0.021	無	非適用	0.005	非適用
県平均				0.017									0.017	
岐阜明德自排		366	8710	0.018	0	0.0	0	0.0	0.120	0.041	無	○	0.016	○
大垣自排		340	8152	0.02	0	0.0	0	0.0	0.094	0.043	無	○	0.021	○
可児自排		366	8750	0.019	0	0.0	0	0.0	0.130	0.043	無	○	0.020	○
土岐自排		358	8627	0.020	0	0.0	0	0.0	0.117	0.046	無	○	0.021	○

備考) 1 県環境管理課調べ

2 環境基準の長期的評価に適合しているとは、測定時間が年間6,000時間以上あり、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続せず、かつ、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数が年間を通じて2%以下であることを示す。

3 県平均に、乗鞍測定局、自動車排出ガス測定局は含まない。